

一 般 質 問 要 綱

平成 29 年第 8 回 12 月 定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	18	遠藤金美	1 教育行政について	(1) 今春に発生した学校給食での賞味期限切れ牛乳混入事件の結末について伺いたい。 (2) 喜多方市小・中学校「適正規模・適正配置」について伺いたい。 ア 9月25日から10月6日まで各中学校区単位に開催された地域説明会の結果について イ 本庁、各総合支所、公民館へ設置のアンケートの結果について ウ 地域説明会とアンケートの内容の結果を今後どのように役立て、また方向性を決めるのか。
			2 全国水源の里シンポジウムについて	(1) 本市での開催を誘致する考えはないか伺いたい。
			3 野生鳥獣について	(1) 放射性物質の検査状況について伺いたい。 (2) 本年の野生獣（サル・イノシシ・クマ）の出没、目撃、農作物の被害、捕獲状況と被害防止対策について伺いたい。 (3) 平成 29 年度鳥獣被害対策に係る集落アンケート調査について伺いたい。 (4) 有効な野生鳥獣の被害防止対策について伺いたい。
2	10	後藤誠司	1 小・中学校「適正規模・適正配置」について	先日、中学校区単位7カ所において、市立小・中学校適正配置に関する説明会が開催されました。 そこで以下の点について伺います。 (1) 各地区それぞれの参加人数について伺います。 (2) 各地区での適正配置に対する主な意見について伺います。 (3) アンケート結果について伺います。 (4) 適正配置の今後の方針について伺います。 (5) 原案検討の庁内検討委員会、教育委員会会議、総合教育会議のメンバー及び人数について伺います。 (6) 適正配置審議会（官・民・学識経験者等）のメンバー及び人数について伺います。
			2 運転免許証自主返納支援事業について	今年度から新たに運転免許証自主返納支援事業が始まりましたが、以下の点について伺います。 (1) 旧市町村別の申請人数について伺います。 (2) 支援報償のデマンド乗車券、タクシー券、それぞれの交付額について伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				(3) 支援報償に乗合バス乗車券等を増やす考えはないか伺います。
3	8	遠藤吉正	1 予算編成について	(1) 平成 30 年度の一般会計規模と編成の方針について ア 平成 30 年度の予算規模及び編成についての基本的な方針について伺う。 イ 財源確保、経費削減に向け、どのような方針で予算を編成されるのか伺う。
			2 環境施策について	(1) 食品ロスの具体的な取り組みの現状について ア 市民へのごみ減量啓発の取り組み状況について伺う。 イ ごみ減量化に向けた事業所(飲食店も含む)への啓発活動の取り組みについて伺う。 ウ 園児及び児童向けのごみ減量教育の取り組みについて伺う。
			3 観光施策について	(1) 平成 30 年度における観光振興施策について ア 平成 30 年度は具体的にどのような観光施策で本市の観光振興を図るのか伺う。
4	24	佐原正秀	1 土地利用行政のあり方について	超高齢化・人口減少社会に移行し、空き地・空き家、耕作放棄地や荒廃森林が増加しており、中でも所有者不明土地の増加で公共事業の執行に支障が生じておりますが、地域社会では土地利用について様々な課題が浮き彫りとなっております。 そうした中で、政府は公共事業などの国や地方自治体が土地を利用しやすくする仕組みを盛り込んだ新法案を来年の通常国会へ提出する方針を示されました。 その内容によりますと、年末までに法案の骨子を固めたいとの方針であります。 そこで本市における現状の課題と今後の対応についてお尋ねします。 (1) 所有者不明の土地の現状について (2) 都市計画決定の見直しの必要性について (3) 超高齢・人口減少時代に適した制度への転換について (4) 一元的な土地利用行政の確立について (5) 土地利用行政の展開のために必要な権限・事務の移譲、規律密度の緩和の方向性について (6) 土地利用行政の展開のために必要な人材の育成・確保について

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			2 包括連携協定による地域活性化について	<p>自治体と企業が協力しながら地域が抱える課題に取り組む「包括連携協定」などの連携協定が全国で急速に増えています。</p> <p>地方経済の停滞と少子高齢化で税収が伸び悩む中、企業が持つノウハウやネットワークを活用したい自治体と地域での存在感をPRしていきたい企業との思惑が一致した形であります。</p> <p>高齢者の見守り活動から観光や産業の振興まで様々な取り組みがあり、協定を結ぶ自治体も都道府県から市町村へと広がり、地方行政を支える力になっておりますが、本市の対応についてお尋ねします。</p> <p>(1) 地域課題の解決へ広がる自治体と企業の協働について (2) 総合戦略にどう取り組むかについて (3) 具体的な取り組みの方向性について (4) 日本郵政事業とのタイアップについて</p>
			3 図書館の運営について	<p>図書館運営については、利用状況において評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならないと定められておりますが、今回市民の方々からの苦情処理は適正な対応であったのか、私は大変疑問に感じましたので、次の事項とともに、その対応と改善策についてお尋ねします。</p> <p>(1) 先駆的な図書館政策について (2) 近年の主な図書館政策について (3) レファレンスサービスの充実について (4) 市民からの苦情に対する対応と改善策について</p>
5	11	菊地とも子	1 第 48 回衆議院議員総選挙について	(1) 衆議院議員総選挙の投開票結果について (2) 移動期日前投票所の導入について
			2 マイナンバーについて	(1) マイナンバーの活用について (2) マイナポータルの活用について
			3 ロビーコンサートについて	(1) 市役所ロビーコンサートの実施について
6	25	山口和男	1 国保税について	<p>(1) 平成 30 年 4 月からの県広域化に向け、県の運営方針（案）が示されました。この方針（案）に対して本市はどのような意見を述べてきましたか。</p> <p>連携会議等における協議内容を、またWG（ワーキンググループ）の中では何を議論され、それが方針（案）に盛り込まれたか明らかにしてください。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>(2) 保険税率が県の試算として示されたそうですが、本市の税率との差異は。その試算についての見解を問う。</p> <p>(3) 県では応能・応益の4方式を、資産割を除外して3方式にしようとしています。このことについて本市の見解を問う。また、3方式になった時の本市への影響をどう捉えているか見解を問う。</p> <p>(4) 運営方針について、12月県議会で条例が成立される見込みです。よって早急に本市の考えを取りまとめ、県に進達しなければならないと考えるが見解を問う。</p>
7	16	齋藤 仁一	<p>1 新年度市政運営について</p> <p>2 障がい者就労施設等からの物品等の調達の推進について</p> <p>3 農林業ビジョンについて</p>	<p>(1) 山口市長の引退表明を受け、1月には市長選挙が行われ、現市長の任期満了が2月となっている。 この時期は新年度予算編成時期と重なるが、市の新年度予算編成への基本的な考えは何か伺いたい。</p> <p>(2) 新年度の予算規模はいくらになるのか。特に交付税削減の影響はどのようになるのか。また、予算編成にはどのような考えで臨むのか伺いたい。</p> <p>(3) 山口市長の2期8年間の総括と次期市長に引き継ぐべき今後の市政運営の主な課題は何か伺いたい。</p> <p>(1) この法律施行後、市はどのように障がい者就労施設等からの物品等の調達を図ってきたのか。また、市の物品調達の実績はどのようになっているのか伺いたい。</p> <p>(2) 市の施設全てが対象となるが、実態はどのようになっているのか伺いたい。</p> <p>(3) 今後、市の施設での障がい者関連団体の物販及びそれらに類する販売について、見直しが必要と考えるがどうか伺いたい。</p> <p>(1) このビジョンの中で、特に何を主要施策とするのか伺いたい。</p> <p>(2) 多様な農業のあり方を想定して計画策定されているが、実際の例になると目標所得の確保が可能な形態のみの掲載となっているがどうしてか。多様な形態の農業を掲載すべきと思うがどうか伺いたい。</p> <p>(3) 市内の直売所、学校給食の利用など市内での販売、また、観光客への販売及び都市でのアンテナショップ開設などの強化策が必要と考えるがどうか伺いたい。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				(4) 林業再生に向けた会津 13 市町村が取り組んでいる「会津地域分散型エネルギーインフラプロジェクト」を計画に位置づけをして、積極的に推進する必要があると考えるが、市の考えを伺いたい。
8	7	上野利一郎	1 私立保育施設における保育士等処遇改善事業について	<p>本市においても保育環境の改善や拡充の取り組みが行われている中、民間保育施設での保育士不足により、認可保育所等の保育受入数を増やせない現状があった。</p> <p>今年度より待機児童の解消を図るため保育士の人材確保対策として、市内の認可保育所等の保育士等処遇改善事業が施行された。</p> <p>そこで次の 3 点について伺います。</p> <p>(1) これまでに、この事業に申請した認可保育所等の数と保育士等の採用人数の状況について伺います。</p> <p>(2) 来年度から市立第四保育所の閉所、認可保育施設の新規開設や公立こども園の定員増が予定されているが、0 から 2 歳児の受入数について、今年度と比較して市内保育施設全体での増加見込みについて伺います。</p> <p>(3) この事業の効果と今後の課題について伺います。</p>
			2 三ノ倉高原花畑事業について	<p>継続事業となっているこの事業も様々なメディアを通して周知が拡大し、「菜の花」、「ひまわり」の開花時期に、昨年の 2 割増しとなる約 13 万人が来訪した。</p> <p>そこで次の 3 点について伺います。</p> <p>(1) 交流人口は増加したが、地域経済の活性化にはどの程度寄与できたか伺います。</p> <p>(2) 「ひまわり」の開花時期が昨年より遅れたことにより、8 月下旬に来訪者が集中し、予想外の渋滞が見受けられたが、どのような状況であったか伺います。</p> <p>(3) 渋滞緩和策の必要性等も含めて今後の課題について伺います。</p>
9	3	小島雄一	1 平成 30 年度予算の編成方針について	<p>来年度予算は 2 期 8 年の山口市政の完遂のための最後の予算であると同時に次期市政に対して、また、喜多方の未来に対しての市長の思いのこもった予算であることを確信しつつ質問します。</p> <p>(1) 来年度予算の歳入歳出の総額の見通し、編成方針の概略を伺う。</p> <p>(2) 厳しい歳入予想のもと、抜本的行政改革や事業のスクラップアンドビルドを行うと編</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>成方針にあるが、具体的内容は何か伺う。</p> <p>(3) 自主財源の乏しい本市にあっては、投入される資金の総額よりも地域内で循環する体制が重要と思われるが考えを伺う。また、それを意図した政策があれば伺う。</p> <p>(4) 資金の地域内循環のためには、それを担う人材や組織が必要と思われるが考えを伺う。</p>
			2 新農林業ビジョンについて	<p>本市が農林業の施策のよりどころとしてビジョンを作成し、農林業の振興を図ってきたことは評価するところであるが、次の 10 年のための新ビジョンについて伺う。</p> <p>(1) 本年度までの現農林業ビジョンの総括を伺う。</p> <p>(2) 多様な担い手の確保が必要であるが具体策を伺う。イベント等で応募を待つだけでなく、積極的にリクルートする必要があると思うが考えを伺う。</p> <p>(3) 他産業との連携をどのようにするのか伺う。</p> <p>(4) 耕作放棄地の対策をどのようにするのか伺う。</p> <p>(5) 畜産の課題の一つである堆肥処理の考えを伺う。</p>
			3 小・中学校の適正配置について	<p>(1) 塩川小学校の児童数増加が見込まれているが、総合的な対策が必要と思われるがいかにか伺う。</p> <p>(2) 子育て世帯向け住宅を小学校の児童数減少対策として使うべきと思うが考えを伺う。</p>
10	2	矢吹哲哉	1 喜多方市全体のまちづくりと旧町村単位の地域づくりについて	<p>(1) 消防庁舎の候補地の一つに県立病院跡地としたことについて</p> <p>ア 候補地選定の経過と県立病院跡地を選んだ理由は。</p> <p>イ 市民、住民への説明、合意形成はしているのか。</p> <p>ウ 中心市街地に近い県立病院跡地は消防庁舎の機能・立地条件からみて候補地にふさわしくないのではないか。</p> <p>エ 候補地の選考は今後どのようにして決定していくのか。県立病院跡地は候補地から外すべきではないか。</p> <p>(2) 小・中学校の適正配置計画について</p> <p>ア 住民説明会で出てきた主な意見は何か。</p> <p>イ 今後の決定までのスケジュールは。</p> <p>ウ 住民への説明、合意形成はどのようにしていくのか。</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項	質問要旨
				<p>エ 文部科学省の言う「適正規模」を教育学的に研究したものはあるのか。</p> <p>オ 適正配置は旧市町村単位の中で検討すべきではないか。</p> <p>(3) 公共施設等総合管理計画について</p> <p>ア 現在の進行状況といつまでに各施設類型ごとの個別方針は決めていくのか。</p> <p>イ その際、市民、住民への説明会、意見交換会等を行っているのか。</p> <p>ウ 関心が高い図書館及びその3階にある郷土民俗館についての検討状況と今後の方針決定までの進め方はどのようにしていくのか。また、いつ頃までなのか。</p> <p>エ 市全体のまちづくりや旧町村ごとの地域づくりと一体に進めていくことが必要と考えるが、市民、住民の合意はどのように図っていくのか。</p>
			2 地方創生まち・ひと・しごと創生総合戦略について	<p>(1) 平成 29 年度は 5 カ年計画の中間年である。</p> <p>ア 検証・評価は中間年度として行ったのか。また、外部評価は行ったのか。</p> <p>イ 主な目標値の現在値と推移について伺う。</p> <p>(ア) 雇用 — 誘致企業による新規雇用創出数、認定農業者数及び新規就農者経営確立支援事業による新規就農者数、起業・創業件数。</p> <p>(イ) 移住・定住 — 転出・転入者数、子育て世帯向け定住促進住宅の整備状況。</p> <p>(ウ) 子育て支援 — 公園や広場の整備に関する満足度、待機児童数。</p> <p>(2) 平成 30 年度の強化点や新しい取り組みは検討しているのか。</p> <p>(3) 待機児童解消は平成 31 年度までではなく、平成 30 年度達成を目指すべきではないか。</p>
			3 平成 30 年度以降の米政策の転換について	<p>(1) 来年度（平成 30 年度）の米政策転換の主な内容は何か。（生産目標数量の配分、戸別所得補償等）</p> <p>(2) 本市では農家の皆さんへの説明等をどのようにしていくのか。対応で何が変わるか。</p> <p>(3) 県・市の具体的対策は何かあるのか。</p> <p>(4) 国に対し、戸別所得補償制度の復活を求めるべきではないか。</p>
1 1	2 2	齋藤勘一郎	1 県道喜多方・西会津線の整備について	(1) 環境センター山都工場入り口から慶徳峠頂上部までの約 3 km 区間の改良整備の方針と計画について

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			2 河川整備について	(1) 一ノ戸川と宮古川の合流地点の河川整備について
			3 有害鳥獣対策（イノシシ対策）について	(1) 出没の実態について (2) 被害の実態について (3) 対策について
			4 教育施設の利活用について	(1) 山都中学校のテニスコートについて (2) テニスコートの規模について (3) 現在の管理について (4) 今後の方針について
1 2	5	江 花 圭 司	1 喜多方市の基幹産業の現況と所得について	(1) 基幹産業である農業の産出額と観光地域である喜多方市の商業商品販売額について、それぞれの県内 13 市、59 市町村での順位を伺います。 (2) 工業製造品出荷額について、県内 13 市、59 市町村での順位を伺います。 (3) 財政力指数について、県内 13 市、59 市町村での順位を伺います。 (4) 第 1 次、第 2 次、第 3 次産業のうち最も生産額が高いのは、何次産業であり、また、全ての産業で最も高い割合の生産額を示す業種を 5 位まで伺います。 (5) 本市の 1 人当たりの年間平均所得額について、県内 13 市、59 市町村での順位を伺います。 (6) 本市職員給与額と議員報酬額について、それぞれの県内 13 市、59 市町村での順位を伺います。 (7) 事務事業評価の大綱や政策に対する達成度は検証しているか伺います。
			2 雇用と所得向上のための仕組みづくりについて	(1) 喜多方綾金工業団地へは、どのような業種の立地が望ましいか。また、どのような業種の引き合いがあるか伺います。 (2) ブロックチェーン技術を用いた喜多方広域仮想通貨の研究や実験を行う場として、本市と会津大学が連携することは可能か伺います。 (3) 本市職員給与支給後、地域内消費拡大や、地域外流出額を減少させる取り組みは過去に例があったか伺います。
1 3	1 3	長 澤 勝 幸	1 持続可能な総合型地域スポーツクラブの諸課題について	(1) 存続運営に向けた意見交換・基盤整備・財源確保・次世代へ発展的につなげる課題について (2) この間の同事業実績から、各団体との連携・組織構図・体組成測定の取り組み等を踏まえた今後のあり方について

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
14	4	関本美樹子	1 喜多方地方定住自立圏共生ビジョンについて	<p>この 10 月に開催された全員協議会においては、一連の流れについて説明を受けました。</p> <p>平成 27 年 12 月 24 日に本市が中心市宣言をし、平成 29 年 6 月 27 日に本市と 3 市町村がそれぞれ定住自立圏形成協定を締結してからのスタートです。この 11 月下旬にも策定・公表の予定ともあります。</p> <p>(1) この取り組みは政策分野の中から 1 から 2 程度の事業を絞り込むという形で検討してきたとありますが、3 点の政策分野（共生ビジョン案）に基づく 13 の具体的取り組みについてはどのような流れと理由の中で決定されてきたか伺います。</p> <p>(2) 今年 8 月、9 月に開かれた 12 名の委員による「定住自立圏共生ビジョン懇談会」では主にどのようなことが議論の中心となったか伺います。</p> <p>(3) 上記懇談会において、周辺町村から特段の意見や要望が出たとしたら、その内容は何かあったか。また、リーダーシップは別として協定における中心市及び周辺町村の対等感、熱意についてはどうであったか伺います。</p> <p>(4) 策定・公表に伴う名称は「喜多方地方定住自立圏」となりますが、この中で絞り込みから漏れてしまった協定事項の中で少子化、特に婚活支援の推進や産業振興、この事業の大きな眼目でもある移住・定住については来年度からどのように政策的に審議・検討されていくか否か方向性を伺います。</p> <p>(5) 向こう 5 年間の流れの中で中心市としてリーダーシップを発揮し、周辺町村と協力しながらどのような広域圏を形成していくか伺います。</p>
			2 本市における観光（教育的なものも含む）対策について	<p>(1) 広域観光のルートづくりや圏域の枠を超えた広域周遊のための連携強化はどういう形で進んでいるか伺います。</p> <p>(2) 教育旅行の受け入れの現状と来年度における推進対策について伺います。</p> <p>(3) 現在、猪苗代町・磐梯町・北塩原村の 2 町 1 村で形成されている平成 23 年 9 月に認定となった「磐梯山ジオパーク」について本市はどのように認識しているか。また、ジオパークとの連携について伺います。</p>
15	12	小林時夫	1 防災・減災対策について	<p>(1) 水害対策について ア 雨量計の設置について</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				イ 水防体制の充実について (2) 避難所について ア 避難所の耐震化について イ 避難所の運営について ウ 今後の避難所について (3) 要配慮者施設の避難計画について
			2 教育行政について	(1) いじめ、不登校対策について ア いじめ、不登校の現状について イ いじめ、不登校の具体策について (2) 校務支援システムについて
16	14	坂内鉄次	1 市民、特に若者(40歳以下)の社会参画について	(1) 市民、特に若者の参政への醸成をどう図っていくのか伺う。 (2) 市民、特に若者の選挙投票行為をどう高めていくのか伺う。
			2 喜多方地方広域圏の振興へ向けて	(1) 喜多方地方定住自立圏形成の取り組みをどう活かしていくのか伺う。 (2) 喜多方地方広域市町村圏組合新本庁舎・消防庁舎の建設は圏民の合意形成を図ることが肝要と考えるがいかがか伺う。
			3 市有集会施設の譲渡方針の見直しについて	(1) 原点に立ち戻って見直しをするべきではないのか伺う。
17	1	田中和加子	1 子どもの貧困対策と子育て支援について	(1) 就学援助制度について ア 入学準備金支給時期はいつに決まったのか伺う。 イ 市民にどのように知らせるのか伺う。 (2) 保育士の確保について ア 処遇改善事業補助金の申請状況と効果について (3) 子どもの貧困の実態調査について
			2 高齢者の生活支援について	(1) ヘルパー事業の認識について (2) 介護職員の処遇改善について (3) 要介護認定者の障害者控除の周知について (4) 配食サービスについて ア 利用状況と今後の課題について (5) 除雪支援事業の拡充について
18	19	渡部孝雄	1 平成30年度予算編成方針について	(1) 予算編成の基本的な考え方では、事業の終期設定について、平成29年度の評価と平成30年度の取り組み方針を伺う。 (2) 歳出については、区長会要望、各集落要望など住民が長期にわたり要望している道路舗装ほかについて、対応する予算を増額し、いち早く応えるよう求め、見解を伺う。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			2 地域振興施策について	<p>(1) 自治基本条例の推進について</p> <p>ア 第 19 条 市民の参画の促進、第 22 条 必要な支援について、次年度以降の具体策を伺う。</p> <p>イ 地域振興、まちづくりは「行政が主導し、市民が主体となって進める」ものとして、予算はもとより地域振興計画策定や事務局機能への支援を求め、見解を伺う。</p> <p>(2) 過疎地域自立計画について</p> <p>ア 計画の進捗に対する評価はいかがか。</p> <p>イ 「基幹集落の整備及び適正規模集落の育成を図ることにより地域社会の再編成を促進すること」とあるが、対応する事業の進捗を伺う。</p> <p>(3) 都市計画について</p> <p>ア 用途地域の利用状況評価と今後の目的に沿った誘導施策、振興施策はいかがか。</p> <p>イ 塩川駅東西自由通路の設置に伴う都市再生整備計画では、駅西区画整理地域の高規格道路までの拡大や駅から塩川総合支所及び農工団地への道路整備など人口増加傾向にある地域の拡張政策について考えを伺う。</p> <p>ウ 農業振興地域除外農地の耕作放棄地等の現状と振興への見解を伺う。</p>
			3 障がい者活動支援政策について	<p>(1) 障がい福祉計画に基づく地域生活支援の拠点づくり、地域生活支援施策の現状評価及び第 5 期計画、次年度予算への反映はいかがか。</p> <p>(2) 障がい者就労施設及び企業からの物品調達についての現状評価と今後の進め方、調達量の見通しを伺う。</p>
19	6	渡部 信夫	1 山口市政 2 期 8 年の総括について	<p>(1) 市長就任時及び 2 期目就任時の所信表明における施政方針を基本とした市政運営に対する総括を伺います。</p> <p>(2) 諸施策について</p> <p>ア 均衡ある発展の基本である事務事業の統一は達成されたか伺います。</p> <p>イ V-Low 災害情報連携システムを含む防災情報伝達体制について伺います。</p> <p>ウ 人口減少対策について</p> <p>(ア) 定住自立圏構想における具体的事業について伺います。</p> <p>(イ) 移住・定住政策における人口減少対策について伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>エ 会津地域分散型エネルギーインフラプロジェクト・マスタープランについて伺います。</p> <p>オ 新工業団地整備事業を中心とした企業立地の展望を伺います。</p> <p>カ 水田農業の振興策について</p> <p>(ア) 米生産数量の目安に従って取り組む農家に対するインセンティブの基本構想を伺います。</p> <p>(イ) 用途別の需給ミスマッチ解消で、銘柄米の偏重栽培による価格下落を防ぐために収益性の劣る業務用米の生産を促進する基本構想を伺います。</p> <p>(ウ) 新たな米政策を円滑に進めるための産地交付金の基本構想を伺います。</p> <p>(エ) 担い手不足や遊休農地解消のために湯川村が取り組む第三セクターによる農業法人設立の評価と本市の農業経営参入の将来構想を伺います。</p> <p>(3) 次期市政への引き継ぎについて</p> <p>ア 平成 30 年度予算編成における政策的予算枠を次期市政にどの程度委ねられる考えですか。また、委ねたい政策的事業構想はありますか伺います。</p> <p>イ 組織の改編と人事異動については、定期的な年度末の異動を最小限に留め、新市長による政策的予算の提案とともに実施すべきではないか伺います。</p>